



七夕飾り



Beautiful Harmony

〒737-0862 呉市狩留賀町 8-6

TEL(0823)31-7570 FAX(0823)31-2837

E-mail:yosc@kure-city.ed.jp

令和7年度「呉市防災週間」

呉市では、平成30年7月5日から8日にかけて降り続いた記録的豪雨により、呉市内各所において、土砂災害や河川の氾濫などが発生し、災害関連死を含め30名もの尊い命が失われるとともに、3200件を超える家屋被害により、多くの市民の皆様が長期間ご自宅から離れられ、避難所や応急仮設住宅などでの不自由な生活を余儀なくされました。

平成30年7月6日に発生した「平成30年7月豪雨災害」を教訓として、命の尊さを学び、自然災害から自分の命は自分で守る意識をより一層高めるとともに、災害の記憶を風化させることなく次代へ継承していくことを目的に「呉市学校防災週間」が設定されています。この日を忘れることがないように、犠牲になられました方々に哀悼の意を表するため、中学校でも1分間の黙とうを行いました。今年度は、7月6日が日曜日のため、7月4日正午に行いました。梅雨は明けましたが、災害に対する準備は行っておきたいものです。**ご家族で、避難場所の確認、持ち出し袋の準備等を再度見直してみてもいかがでしょうか。**

パーテーションづくりと段ボールベッドづくり(6月6日)

昨年に引き続き、呉市総務部危機管理課より来ていただき、3年生を対象に防災学習を行いました。狩留賀町内の方も参加してくださいました。体育館でお話を聞いた後、避難所が設営されたら必要なパーテーションづくりや、段ボールベッドづくりを行いました。中学生にとって、割と簡単に組み立てることができるもので、段ボールベッドは2人が寝ても大丈夫なほどの強度もありました。いざ

というときは、中学生が避難してくる人の手助けを率先してくれるものと思います。



トイレスペースづくり



段ボールベッド



パーテーション

給食で考える(7月1日, 7月4日)

呉市は、昭和20年に呉空襲で犠牲になられた方の冥福と恒久平和の確立を祈念するため、7月1日を呉空襲犠牲者慰霊・恒久平和祈念の日と定めています。12時に全員で黙とうを行いました。「追悼給食」として、この日のメニューは、**麦ごはん**、**すいとん**、**切り干し大根の炒め煮**でした。また、7月4日は「防災給食」として、**非常用カレー**、**乾パン**、**豚汁**でした。2日ともとてもおいしくいただくことができました。食を通して平和について考えるきっかけになったと思います。



高齢者体験学習(2年)

2年生は、8月19・20・21日にキャリア・スタート・ウィーク(職場体験)があります。その事前学習の1つとして、7月1日に天応・吉浦地域包括支援センターと呉市社会福祉協議会から来ていただき、認知症や高齢者理解の学習を行いました。



高齢者の状況や、認知症について講義を聞き、その後体育館で疑似体験を行いました。生徒は一人一人 4 キロのおもりが入っているジャケットを着たり、手首や足首におもりを付けたりしました。また、視野が狭くなったり耳が聞こえにくくなったりすることを想定して、ゴーグルやヘッドホンを着用しました。生徒はなかなか動くことができない状況で、「こんなに大変なんだ!」と感じていました。



生徒の感想より

- ・高齢者体験で、高齢者のつらさを実感することができた。
- ・今日の総合では、認知症についての勉強と、高齢者体験をしました。高齢者体験では大変なことがたくさんあったので、これからは高齢者との接し方を考えて接します。
- ・今日は高齢者体験をしました。僕的には、視力がなくなるのが怖かったので、支えていきたいです。

民生委員児童委員の方との交流会

7月7日に中学校で民生委員児童委員の皆様と教員の交流会を行いました。民生委員児童委員の方からは、「**中学生がよく挨拶をしてくれる。**」「**中学生から元気をもらっている。**」とお褒めの言葉をいただきました。畑の活動にも参加をしてくださる皆さんですが、**吉浦の子どもと一緒に育てる**、という思いを強く感じた交流会となりました。

